

所 信 表 明

平成26年12月3日

御浜町長 大 畑 覚

平成26年第4回御浜町議会定例会の開会に当たり、私の所信を表明させていただきます。

去る9月28日に執行された御浜町長選挙において、住民の皆様のおかげで当選させていただき、10月10日から町政を担当させていただいております。

議員各位をはじめ住民の皆様に対しまして、心から感謝とお礼を申し上げます。誠にありがとうございます。

これからの4年間、第8代御浜町長として町政の推進に全力で取り組んでまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、国内の経済は、アベノミクス効果で、株高、円安が進んだにもかかわらず、平成26年4月に消費税が8%に引き上げられたことにより、7月から9月期の実質国内総生産、いわゆるGDPの成長率が前期比の年率で1.6%減と想定外のマイナスに陥り、景気回復の遅れが鮮明になっています。

その結果、安倍首相は、消費税の10%への引き上げを1年6ヶ月先送りした上で、衆議院の解散を行い、国民の民意を問う決断をいたしました。

国においては、景気浮揚のための経済対策や財政再建問題などの喫緊の課題に加え、エネルギー問題、人口減少・少子高齢化対策、社会保障費財源問題等々、解決されなければならない課題が山積しています。

また、解散直前に地方創生の基本理念を盛り込んだ「まち・ひと・しごと創生法」並びに「改正地域再生法」が可決されたことに伴い、市町村においては、「まち・ひと・しごと創生」に関する目標や施策に関する基本的方向等を策定することとなります。

そのような情勢下、御浜町を見てみますと、停滞する地域経済状況により雇用の確保が遅々として進まない中、依然として都市部への若者流出に加え、少子高齢化による人口減少が一層進展しており、町創立時には1万3千人を誇った人口も、平成に入り1万人を割り、現在では9千2百人にまで減少いたしております。

今後もさらに人口減少が続くものと見込まれます。

町の基幹産業であるかんきつ産業におきましても、全国的な消費量の落ち込みや嗜好の変化による高品質果実が要求される中、生産者の高齢化や後継者不足による労働力の低下及び耕作地の減少、さらには販売価格の低迷及び生産経費等の負担増により農家所得が減少し、産地の維持が大変厳しい状況が続いております。

また、防災に関しましても、南海トラフを震源域とする巨大地震の発生が高い確率で危惧されており、一刻も早い防災力の強化が求められる現状にあります。

そこで、私は、加速度的な人口減少に歯止めをかけ、安全で明るく活気のある御浜町を取り戻すために、町政の柱として次の六つの項目を掲げて、取り組んでまいります。

一つ目は、高速道路の整備についてであります。

高速道路紀勢線は、平成25年に熊野市大泊まで開通しました。

また、尾鷲北から尾鷲南間、熊野道路大泊久生屋間、熊野川河口にかかる大橋が新規に事業化されております。

しかしながら、熊野市の久生屋から御浜町全線と紀宝町の一部区間が事業化されていない状況であります。

防災、救急医療、地域経済の面からも、命の道であるこの高速道路は紀勢線全線が繋がって初めて効果が発揮されます。

事業化された区間の早期完成と残り約16kmの区間の早期事業化に向けて、全力で取り組んでまいります。

二つ目は、防災の強化についてであります。

これまで、自主防災組織の育成強化に限る条件で全職員を防災課防災係に任命し、自主防災組織の活動支援がなされてきました。

その結果、自主防災組織の活動が活発になった地域も見られますが、依然として、活動が停滞している組織が多く存在します。引き続き、現体制を維持しながら、取り組みを行ってまいります。

また、未整備の海岸防潮堤につきましては、萩内海岸堤防の市木川河口付近への早期完成を目指して、積極的に要望活動を行ってまいります。

三つ目は、若者の定住対策についてであります。

若者定住のための宅地を確保するために、農振農用地区域の見直しを行います。

また、子ども・子育て新支援制度の実施により、保育所の運営の見

直しを行うほか、子育てにかかる負担軽減を図ります。

四つ目は、かんきつの振興についてであります。

かんきつの振興につきましては、農家所得の向上を図ります。優良品種の高品質果実栽培技術を確立し、若者がみかんづくりに参入できる環境を整備してまいります。

また、若者定住と絡めて、新規就農者の住宅を整備します。

五つ目は、教育の充実についてであります。

これまで取り組まれてきた学力の向上対策を継続するとともに、さらなる対策を検討し、学力の向上の成果を早期に出せるよう取り組んでまいります。

また、若者と高齢者の情報共有を図りながら、御浜町の地域性や、独自性を生かした生涯学習の充実を図ってまいります。

六つ目は、高齢者の生きがい対策についてであります。

公共交通対策につきましては、無料巡回バスの導入に向けて、検討を始めます。

さらに、高齢者の方が元気で生活できるためにも、シルバー人材センターを設置し、高齢者の方の働く場の確保を行います。

また、農産物の直売所を設置し、地場産品の販売促進を図りつつ高齢者の方の生きがいをづくりに取り組んでまいります。

以上の六項目について、取り組みの可能な施策から順に、優先的に予算配分を行ってまいります。

なお、六項目以外に各分野において、継続事業を含め確実に実行していかなければならない多くの施策については、積極的に財源の確保に努め、課題解決に向けて取り組んでまいります。

私は、12名の議員の皆様そしてすべての住民の皆様と連携して、町政を進めてまいります。

そのために、私が掲げる政策や施策の他にも、議員をはじめ、町職員及び地域住民の皆様からいろいろな提案をいただき、協議・検討した上で、種々選択し、町政に反映してまいります。

私は、「町内融和・一策入魂」を町政における政治信条として、「オール御浜」で町の活性化に取り組みます。

議員各位並びに住民の皆様のご理解とご指導、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。私の所信表明といたします。